

drink & food (乳業界・食品界と関連業界を結ぶ情報誌)

第50巻第6号 通巻431号 隔月1回25日発行 2023年10月31日発行

1974年9月25日 創刊号発行

臨時増刊号

増刊 資料集No.40

紙容器(パック)・飲料・その周辺
業界の市場実態と関連企業
レポート集

●“足”の取材と積重ね情報を母体
とし、わかりやすくまとめた専門
情報資料のレポート集

●2023年10月31日発行

編集兼発行人:鈴木達雄

発行所:デーエフPR社(First Create)

〒120-0047 東京都足立区宮城1-1-23 ☎03(3911)8651

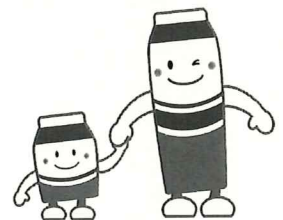
ようかんきょう

容環協ってよんでね

よう かん きょう

全国牛乳容器環境協議会

committee for milk container environmental issues



全国牛乳容器環境協議会(容環協)の活動をご紹介します。

容環協では乳業メーカーと飲料用紙容器メーカーの会員企業から輩出された委員から構成される総務、広報、イベント、支部組織の4つの専門委員会と、これらの専門委員会の組織横断的な情報共有を目的とした企画運営委員会を組織し、プラン2025飲料用紙パックリサイクル行動計画で掲げているさまざまな活動に取り組んでいます。

〒102-0073 東京都千代田区九段北1丁目14番19号(乳業会館)

TEL 03(3264)3903

FAX 03(3261)9176

ホームページ <https://www.yokankyo.jp>

<https://www.packun.jp>

★組織の探索〔2〕／「第32回通常総会」開催の「全国牛乳容器環境協議会」

『第32回通常総会』開催し「プラン2025」を再確認の「全国牛乳容器環境協議会」(4/20) 柳田恭彦会長のもとに結集!!

全国牛乳容器環境協議会は4月20日午後3時から『第32回通常総会』を開催し、第1号議案：2022年度事業報告、第2号議案：2022年度決算及び剰余金処分、第3号議案：2023年度事業計画及び予算、第4号議案：役員選任の本部原案を了承可決した。

なお、役員選任では柳田恭彦氏の会長以下を別掲「役員名簿」のとおり決定し、各々同日付で就任された。

【柳田恭彦会長 挨拶概要】

新型コロナウイルス感染症も落ち着きを見せてきたものの、季節性インフルエンザなどと同じ第5類に移行するのは5月になる見込みであることから、今年度は理事会、総会をオンライン併用形式で開催しました。また、例年総会後に実施している名刺交換会も行わないことといたしました。

さて、プラスチックをはじめとする資源循環の問題が社会課題となっている中、飲料用紙容器のリサイクル推進を担う団体である当協議会の会長を担当する責任の重さ・大きさには身の引き締まる思いです。会員の皆様をはじめ関係の皆様方のご指導ご支援を得ながら、職務を全うすべく全力を傾注する所存でございますので、何卒よろしく願いいたします。

当協議会が目標として掲げている回収率は、2014年の44.7%をピークとして、その後は低下傾向が続いておりました。特にここ数年は長引くコロナ禍により、スーパーや生協の店頭回収ボックスの閉鎖や学校給食用紙パックの回収中止、集団回収の頻度減少などが大きく影響し40%を割り込む状況となりました。

こうした状況を受け、当協会ではこれまでの活動を全面的に見直し、5本の柱に再構築した中期行動計画「プラン2025」を進めて参りました。

このほど「プラン2025」初年度である2021年度の実績が出て参りましたが、各種取り組みの成果も含め、回収率低下に歯止めがかかったと思われまふ。

改めて「プラン2025」内容をご紹介しますと、「1.紙パックリサイクルの現状把握、ステークホルダーとのコミュニケーション」「2.回収率向上のための啓発活動」「3.紙パックの回収・再生インフラの整備支援」「4.次世代を担う子どもたちの環境マインド向上」「5.活動への理解促進、活動の公表と評価」の5項目を実践するものです。

「現状を正しく把握し」、「適切かつ効果のある活動を行い」、「その結果を客観的に評価し」、「レビューする」といったPDCAの考え方により、実効性のある事業を効率的に行っていくというものです。

2023年度は「プラン2025」3年目として、各種



(会長再任の柳田恭彦氏)

事業を確実に実行することにより、回収率を回復させることを目指したいと思います。

日本では、使用済の紙パックをひと手間かけ「洗って、開いて、乾かして」きちんと出すという消費者の高い意識と、それを回収して再商品化している事業者の地道な努力によって、現在の紙パックリサイクルの仕組みが作り上げられました。

我々はこの仕組みを尊重しながら、現状の諸課題に対して現状を正しく認識・分析し、大胆な取り組みを実施していく所存です。

全国牛乳容器環境協議会 「2023年度事業計画」概要

1. 2023年度事業計画について

2023年度も2022年度事業の継続を基本に、「課題となっている案件への注力」、「コロナ禍で中止となっていた事業の再開」および「新規事業への対応」についてバランスよく実施していく。2023年度は特に以下の7つの項目について注力していく。

①プラン2025の「5つの柱」に基づいた活動の実施…「プラン2025」で示した「5つの柱」に基づいた活動を意識し、実施した結果を評価レビューしながら、より効率の高い事業を優先的に選択していく。

②回収率の定義見直し…現在使用している回収率は「紙パック」として集められたもの、および「他の古紙」として収集された後に「紙パック」のみを選別し、選別量が把握されているものを対象としている。しかし、他の古紙として回収され選別・資源化されながらも回収量に計上されていない事例もある。2023年度は調査会社とも協力し、国や経団連の理解を得て回収率への計上を実施したい。

③オンラインなどによる大規模な情報発信…「SNS広告発信」や「自治体ゴミ袋への広告」「啓発動画の作成」など一般消費者層に大規模かつ広く啓発できる情報発信に力を入れる。

自主行動計画「プラン2025」における回収率50%を目標に事業を効率推進★

- ④業務用紙パック回収対応…今年度より開始したレストラン・喫茶店などの業務用紙パックの回収について、次年度はさらに規模を拡大して取り組んでいく。
- ⑤会員企業・組織との課題共有…2022年度から引き続き、会員向けアンケートや定期的な情報発信等を実施し、会員の意識の確認とそれを高める施策を検討する。
- ⑥再生品の使用促進…古紙間屋や再生紙メーカーと協力し、再生品消費拡大について取り組む。具体的には、各種イベントや調査、キャンペーンのノベルティに再生トイレットペーパーを配布するなど、リサイクル啓発と再生品の品質の良さにつ

て実感してもらう。

- ⑦小学校における紙パック回収の強化…現在では学校給食用牛乳の約9割が紙パックで提供されている。紙パックが学校における環境教育の身近な教材として、資源循環型社会形成の役割を果たすことで、紙パックに対する理解や将来の協力者の増加につながることを期待できる。

ここ数年コロナ禍により大幅に低下した学乳パックの回収率を回復させるため、市町村や市民団体と連携した出前授業の実施や「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール」の全校案内（約19,000校）とともに実施するアンケート調査の継続により地域毎の実態を把握する。

※全国牛乳容器環境協議会「役員名簿」

(2023年4月20日時点)

役 職	氏 名	所 属	役 職
会 長	柳 田 恭 彦	森永乳業(株) 常務取締役常務執行役員	生産本部長
副 会 長	井 上 剛 彦	雪印メグミルク(株) 取締役常務執行役員	
副 会 長	原 田 裕 司	(株)明治 取締役常務執行役員	
副 会 長	上 田 晃 司	日本テトラパック(株) 取締役副社長	営業統括
副 会 長	大 林 保 仁	日本製紙(株) 専務執行役員	紙パック営業本部長
常務理事	伊 藤 忍	一般社団法人日本乳業協会	常務理事
理 事	沼 田 一 政	一般社団法人日本乳業協会	専務理事
理 事	川 崎 浩	全国乳業協同組合連合会	専務理事
理 事	林 雅 典	一般社団法人Jミルク 事務局次長兼コミュニケーショングループ部長	
理 事	松 久 浩 二	よつ葉乳業(株) 常務取締役	
理 事	佐 伯 吾 郎	西武酪農乳業(株) 取締役会長	
理 事	川 口 稔	北越パッケージ(株) 取締役 営業本部長	
理 事	田 村 亮 一	石塚王子ペーパーパッケージング(株) 代表取締役社長	
理 事	北 島 友 明	TOPPAN (株) 生活・産業事業本部 パッケージソリューション事業部 第一営業本部長	
理 事	山 内 正 己	東京製紙(株) 容器事業部長	
監 事	木 下 善 文	大日本印刷(株) Life デザイン事業部 AP センター	センター長
監 事	今 井 哲 哉	協同乳業(株) 取締役	

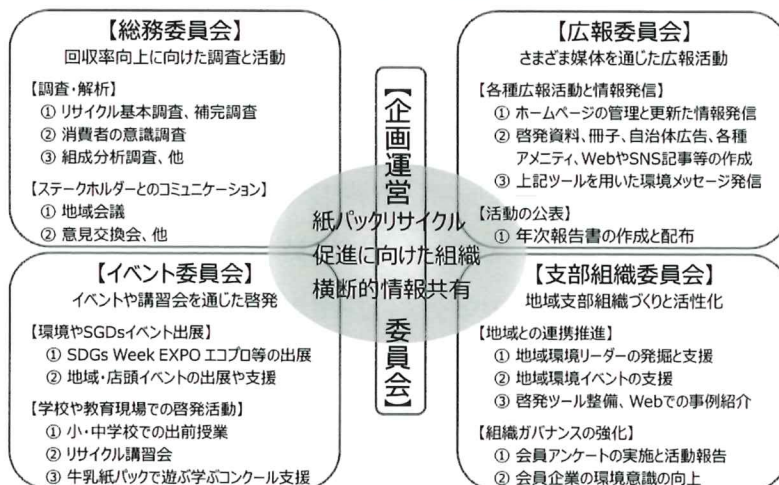
★組織の探索〔2〕／「全国牛乳容器環境協議会」の活動を紹介



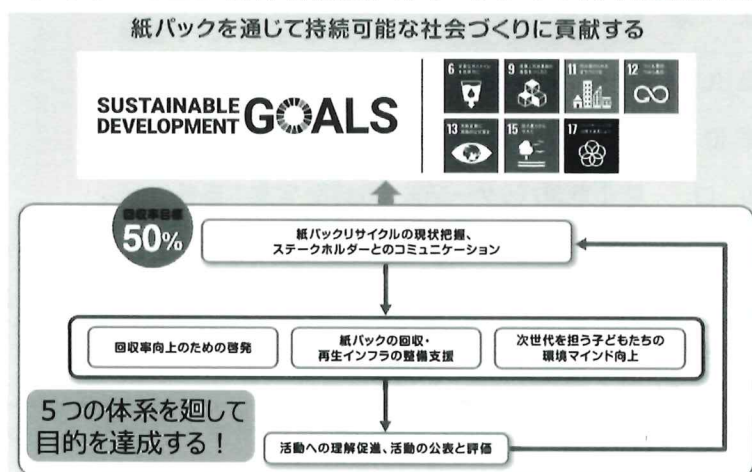
全国牛乳容器環境協議会（容環協）の活動をご紹介します。

容環協では会員企業から輩出頂いた委員から構成される総務、広報、イベント、支部組織の4つの専門委員会と、これらの専門委員会の組織横断的な情報共有を目的とした企画運営委員会を組織し、プラン2025 飲料用紙パックリサイクル行動計画で掲げているさまざまな活動に取り組んでいます。

「全国牛乳容器環境協議会」について



プラン2025 飲料用紙パック リサイクル行動計画



策定：2021年4月

紙パックリサイクルの現状把握、ステークホルダーとのコミュニケーション

① 紙パックリサイクル促進地域会議・意見交換会

省庁、各地域の市区町村、古紙問屋、再生紙メーカー、乳業メーカー、紙容器メーカー、市民団体などにご出席頂き、定期的に地域会議と意見交換会を開催し、紙パック回収にかかわる課題の抽出と解決に向けた情報や意見の交換を行っています。さまざまなステークホルダーからの意見をお聞きし、事業活動に反映させています。



紙パックリサイクル促進 地域会議 in 千葉
ハイブリッド開催／2023年2月10日



紙パックリサイクル促進 意見交換会
Web開催／2023年 2月28日

② 古紙問屋や再生紙メーカーとのコミュニケーション

古紙問屋や再生紙メーカーとのコミュニケーションを深めるために、意見交換会、ヒアリング、見学会などを実施しています。



古紙問屋の見学と意見交換会



再生紙メーカーの見学と意見交換会

③ 回収された紙資源の組成分析調査

他団体とも連携し、定期的に「紙パック」として収集された資源物への異物の混入量（食品トレイや缶など）やアルミ付き紙パックの混入量、「雑紙」として収集された中に混じっている紙パックの混入量などを分析調査しています。



組成調査のようす

★組織の探索〔2〕／「全国牛乳容器環境協議会」の活動を紹介

回収率向上のための啓発

① 業務用領域での紙パック回収の取り組み

レストランを始めとした業務用領域での紙パック回収について、一般社団法人日本サステナブル・レストラン協会と連携し、関西地域、中部地域、関東地域の商業施設やレストランでの実証実験、ウェビナーの開催、行政や商工会への働きかけ、イベント協賛を行っています。



レストランなどで配布しているフライヤー



商業施設やレストランでの実証実験

② リサイクル講習会や地域環境イベントへの対応

全国各地の自治体、諸団体、容環協の会員企業などと連携し、リサイクル講習会や環境イベントの開催や支援を行っています。環境イベントでは、紙パックの回収やリサイクルにかかわるパネルの貸与、子供用や大人用冊子、基本調査報告書、年次報告書などの配布、回収された紙パックから製造されたトイレトペーパー、ボックスティッシュ、ポケットティッシュなどの展示と配布、ノートや各種ノベルティの配布、クイズやアンケートなどを行っています。市民の方々の環境やリサイクルに対する関心や興味は高く、積極的にご質問も頂き、従来以上に有意義な取り組みとなっています。



紙パックリサイクル講習会の一例
東京都狛江市役所／2023年8月19日



環境イベントの一例
東京都港区牛乳パック回収キャンペーン／2023年6月

③ 自治体指定のごみ袋への広告掲載

自治体指定のごみ袋への広告掲載を継続し、HPへもバナーを貼って頂きました。行政にとってはごみが削減されて焼却施設への負荷が減る、市民の方々にとっては有料のごみの袋に入れる量が減り、ごみ袋を買う費用を抑えられる、古紙回収や再生紙メーカーにとっては原料が増えてリサイクルの促進につながるといった「三方良し」の取り組みです。2023年度は、泉佐野、逗子、八王子、羽村、三鷹の5つの自治体の指定ごみ袋に掲載頂きます。

自主行動計画「プラン2025」における回収率50%以上を目標に事業を効率推進★



八王子市指定ごみ袋



羽村市指定ごみ袋



三鷹市指定ごみ袋

④ 大規模な環境イベントへの出展

毎年、東京ビッグサイトで開催されるSDGs Week EXPO エコプロへ出展しています。2022年12月に開催されたエコプロ2022では1,707名の方に容環協ブースへお越し頂き、パネル、動画、啓発資料などを通じて、多くの方々に、紙パックのリサイクルは身近で手軽にできるSDGsへの取組みであることをご理解頂きました。2023年度にもエコプロ2023に出展します。



SDGs Week EXPO エコプロ2022の容環協ブース／2022年12月7～9日

⑤ ホームページ（HP）の全面改訂

対象層毎に入口を設けて、容環協HPを親しみやすい形に全面改訂しました。PCとスマホの双方の閲覧に対応しています。都度、ニュースや情報の更新を行い、Webを通じた情報の発信と啓発活動につとめており、アクセス数が伸びています。セキュリティ向上のため、2023年度からURLを「https」へ変更しました。



対象層毎に入口を設けたホームページ（PC閲覧時のページのトップを抜粋）

★組織の探索〔2〕／「全国牛乳容器環境協議会」の活動を紹介

⑥ WebやSNSを活用した広報・啓発活動

スマホやPCを日常的にご利用頂いている方々が多いことを勘案し、WebやSNSを活用したタイアップ広告を通じた情報発信と啓発活動を行い、容環協HPへの誘導にもつなげています。2023年10月までに計7回のWeb広告を行い、非常に多くの方々にご覧頂き、合計で200万近いPV数となっています。



これまでに実施したWebタイアップ広告の一例

⑦ SDGsの視点から紙パックリサイクルを捉えた新6枚パネルの作成

環境やSDGsの視点から従来のパネルを見直し、新たに6枚パネルを作成しました。エコプロ、リサイクル講習会、地域環境イベントなどで掲示すると共に、自治体、諸団体、容環協の会員企業などが主催するイベント用としての貸与も行っています。ハードタイプ、タペストリータイプを複数セット用意しています。



新たに作成した6枚パネル

⑧ 新たな啓発資料やノベルティの作成

環境、SDGs、資源循環の視点から、新たな啓発資料として、子供用冊子「地球にやさしく 紙パックのリサイクル」、大人用冊子「知ってほしい 紙パックとリサイクル」を刊行しました。紙パックの特徴、地球温暖化

自主行動計画「プラン2025」における回収率50%以上を目標に事業を効率推進★

防止と紙パックリサイクルの関係、再生紙工場の工程と設備、紙パックリサイクルのルール、リサイクルの実態、紙パックの開き方などをわかりやすく解説しています。小学生向けには、学習帳としても役立つ「紙パックで地球にやさしくNOTEBOOK」も作成しました。ノベルティとしてはオリジナルのトイレトペーパー、ボックスティッシュ、ポケットティッシュ、ぬり絵うちわなどを作成しており、どれも回収された紙パックを原料としています。



子供用冊子

地球にやさしく 紙パックのリサイクル



大人用冊子

知ってほしい 紙パックとリサイクル

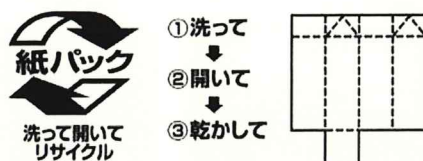


小学生向け学習帳

紙パックで地球にやさしくNOTEBOOK

⑨ 紙パックマークや環境メッセージの浸透

飲料用紙容器の識別マークである「紙パックマーク」と紙パックのリサイクルのルールなどを示した「環境メッセージ」を紙パックの広告欄に表示する取組を継続しています。各社が発行している冊子、教科書、問題集、環境にかかわるさまざまな啓発資料などにも「紙パックマーク」を掲載頂いています。



紙パックマーク（標語・展開図付き）

紙パックの回収・再生インフラの整備支援

① 紙パック回収にかかわる意向調査

全国製紙原料商工組合連合会（全原連）にご協力頂き、全国の市区町村別の牛乳パックの回収区分や牛乳パックを古紙回収する業者の情報を調査し、「古紙原料問屋調査報告書」としてまとめています。お問い合わせがあった時には、この調査報告に基づき、紙パックを回収できる近隣の古紙問屋などをご紹介します。

② 紙パック回収ボックスの提供

これまでに累計で 25,000 個以上の回収ボックスを無償提供しており、2023 年度も約 1,000 個のご提供を予定しています。役場、公民館、学校、PTA、福祉施設、様々な事業所、商業施設や店舗など、多くの拠点に置いて頂いており、市民の方々にとっての身近な分別回収拠点となっています。容環協の HP には回収ボックスや DVD の申込先を掲載しています。

★組織の探索〔2〕／「全国牛乳容器環境協議会」の活動を紹介



回収ボックス

紙パック回収ボックスを無料配布しております。以下よりお申込お待ちしております。

回収ボックスのサイズは 横幅41cm×奥行41cm×高さ92cm、
輸送時の梱包サイズは 約81cm×91cm×6cm でのお届けとなります。

お申し込みは以下の事項を記入し、
メール、またはFAXで下記までお申し込みください。

メール: otolawase@spin-inc.co.jp

①学校名・団体名

②担当者名

③連絡先（電話、FAX、メールアドレス）

FAX: 03-5629-4136

▶ 回収ボックスお申し込み

容環協HPの回収ボックスの申し込みページ

次世代を担う子どもたちの環境マインド向上

① 紙パックリサイクル出前授業と子供向けのワークショップ

紙パックリサイクルの意義、資源循環の大切さ、紙パックや学乳パックの資源としての価値などを子供たちに伝え、理解してもらうため、紙パックリサイクル出前授業やワークショップを行っています。川崎市の市民団体（3R推進プロジェクト、グリーンコンシューマーかわさき）や川崎市環境局（減量推進課）と連携した川崎市の小中学校での出前授業については2023年度も継続しています。依頼や強要といったスタイルではなく、捨てられている森林資源の活用、SDGs、地球温暖化といった環境面の視点から課題を投げかけ、紙パックが別のものになる体験をして貰い、自分たちが今できることは何だろう？といったことを考えて貰うよう、心がけています。



出前授業の一例

川崎市立東門前小学校／2023年9月25日



子供向けワークショップの一例

東京都中央区環境情報センター／2023年8月5日

② 学校給食の場における供給事業者、先生・栄養士などとの協力体制の構築

学校給食を通じた食育の一環として紙パックリサイクルを広めるために、一般社団法人日本乳業協会と連携し、都道府県の教育庁や教育委員会の訪問、供給事業者や学校の先生・栄養士などの研修の場への参加・講師派遣を行っています。学校給食と環境問題や資源循環とのかかわり、飲み終わった後の紙パックをリサイクルする上での課題などについて、事例を交えながらお伝えしています。また、2023年度には、1,700名以上の全児童と教職員が紙パックの回収やリサイクルを行っている千葉県の一小学校を訪問し、取組みを動画としてまとめました。今後、多くの自治体や学校にご紹介し、学乳パックのリサイクルの輪を広げたいと考えています。

自主行動計画「プラン2025」における回収率50%以上を目標に事業を効率推進★

③ 「牛乳紙パックで『遊ぶ学ぶ』コンクール」への協賛

紙パックを使ったものづくりを通して、未来を担う子どもたちの気付きや理解に貢献したいとの思いから、省庁、公的機関、教育機関、乳業団体などに後援頂き、環境学習支援の一環として、継続的に「牛乳紙パックで遊ぶ学ぶコンクール」に協賛しています。2022年度は全国の小学生から寄せられた4,000点以上の作品から、一次審査、最終審査を経て、受賞作品を選出し、作品を制作した児童とご家族の皆さまを招き、12月に表彰式を行いました。2023年度の作品募集についても9月から開始しています。



2022年度の最終審査会
2022年11月8日



表彰式の様子
2022年12月25日



2023年度のポスター

活動への理解促進、活動の公表と評価

① 「リサイクルの実態 概要版」と「年次報告書」の作成

紙パックリサイクルの実態にかかわる基本調査の結果を冊子としてまとめ、「飲料用紙容器（紙パック）リサイクルの現状と動向に関する基本調査」の冊子を作成すると共に、1年間の活動を総括した年次報告書を作成し、さまざまなステークホルダーへ配布しています。これらの冊子については、容環協HPでも電子版を公開しています。



2022年概要版 飲料用紙容器（紙パック）リサイクルの現状と動向に関する基本調査／2021年度リサイクルの実態概要版（2022年12月）



2023 紙パックリサイクル年次報告書
（2023年1月）

※ 更に詳しい情報は容環協 HP まで
<https://www.yokankyo.jp/>

2021年度のマテリアルフローと回収率

2021年度の飲料用紙パック原紙使用量は前年度から5.7千トン減少した211.2千トンでした。また、飲料メーカーを通して、国内市場に出荷された飲料用紙パックは5.6千トン減少した183.1千トンでした。出荷量の内訳は、一般家庭等に向けた家庭系が160.9千トン、学校給食や飲食店等に向けた事業系が22.2千トンでした。

国内紙パック回収量は82.0千トンで、前年度から2.1千トン減少しました。このうち、使用済み紙パック回収量は、スーパーマーケット等での店頭回収が減少したり、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から学乳パックのリサイクルを一時的に中止する学校があったりしたことなどから、前年度より2.0千トン減少した54.1千トンになりました。産業損紙・古紙回収量は前年度より0.1千トン少ない27.9千トンでした。

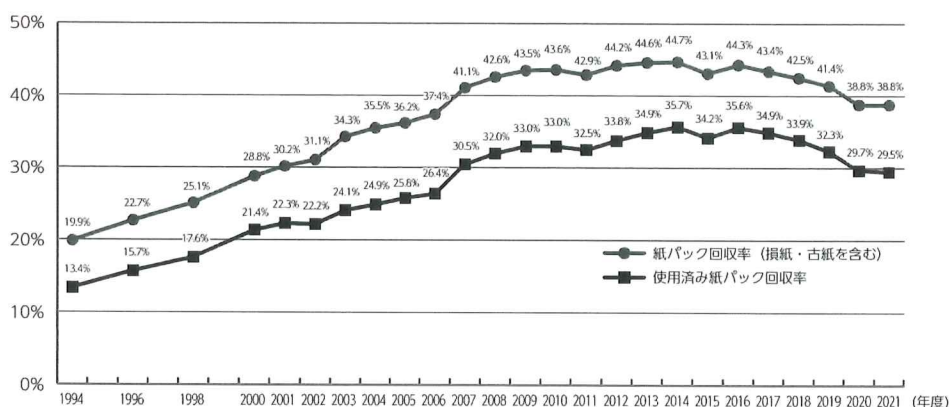
これらの結果、「紙パック回収率(損紙・古紙を含む)」は、前年度と変わらず38.8%でした。「使用済み紙パック回収率」は、0.2ポイント低下して29.5%になりました。

2021年度 回収率

(1) 紙パック回収率(損紙・古紙を含む) **38.8%** (2020年度 38.8%)
 = 国内紙パック回収量(82.0千トン) / 飲料用紙パック原紙使用量(211.2千トン)

(2) 使用済み紙パック回収率 **29.5%** (2020年度 29.7%)
 = 使用済み紙パック回収量(54.1千トン) / 飲料用紙パック出荷量(183.1千トン)

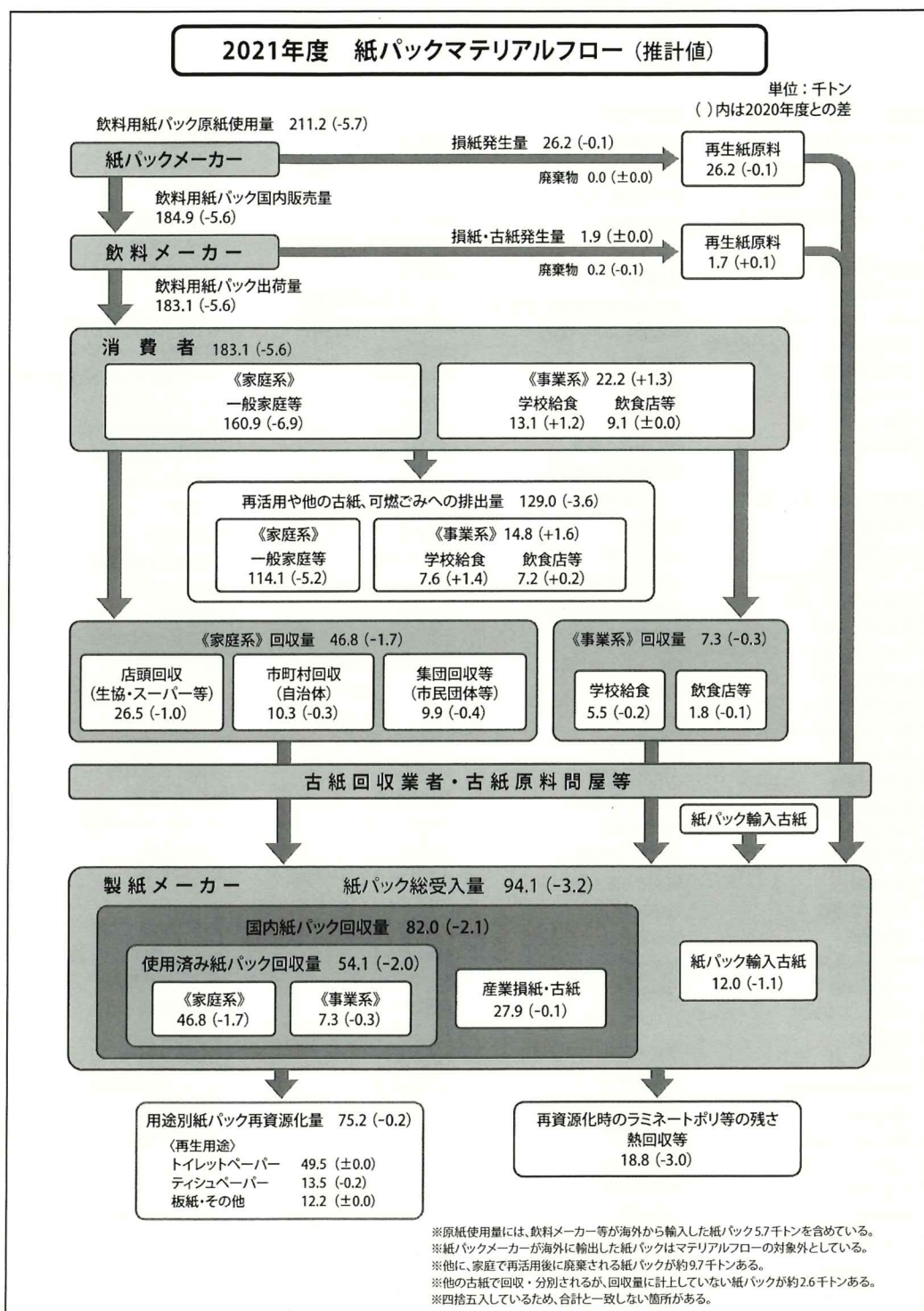
●紙パック回収率の推移



(参考)使用済み紙パックのうち、他の古紙として回収された後に紙パックとして選別・資源化されながらも回収量に計上されないものが2021年度は約2.6千トン、廃棄される前にまな板などに再活用されるものが約9.7千トンであると推計されています。仮に前者を分子に加え、後者を分母から控除したときの回収率は次のようになります。

紙パック回収率(損紙・古紙を含む) : $(82.0 \text{ 千トン} + 2.6 \text{ 千トン}) / (211.2 \text{ 千トン} - 9.7 \text{ 千トン}) = 42.0\%$
 使用済み紙パック回収率 : $(54.1 \text{ 千トン} + 2.6 \text{ 千トン}) / (183.1 \text{ 千トン} - 9.7 \text{ 千トン}) = 32.7\%$

「2021年度紙パック、マテリアルフローと回収率」「販売量とその概況」分析内容★



『全国牛乳容器環境協議会』の概要

所在地：〒102-0073 東京都千代田区九段北1-14-19 (乳業会館)
 TEL 03-3264-3903 FAX 03-3261-9176
 URL <https://www.yokankyo.jp>

■会 員 関連団体《3》 一般社団法人日本乳業協会 一般社団法人Jミルク 全国乳業協同組合連合会 飲料用紙容器メーカー《7》 日本製紙㈱ 日本テトラパック㈱ 石塚王子ペーパーパッケージング㈱ 大日本印刷㈱ TOPPAN ㈱ 北越パッケージ㈱ 東京製紙㈱ 乳業メーカー《112》 〈北海道〉 よつ葉乳業㈱ サツラク農業協同組合 北海道保証牛乳㈱ 新札幌乳業㈱ くみあい乳業㈱ 北海道乳業㈱ ㈱函館酪農公社 ㈱北海道酪農公社 ㈱町村農場 倉島乳業㈱ ㈱豊富牛乳公社 〈青森県〉 萩原乳業㈱ 〈岩手県〉 不二家乳業㈱ 〈宮城県〉 東北森永乳業㈱ 山田乳業㈱ みちのくミルク㈱ 〈山形県〉 ㈱後藤牧場 奥羽乳業協同組合 〈福島県〉 酪王協同乳業㈱ 会津中央乳業㈱ 松永牛乳㈱ 〈茨城県〉 茨城乳業㈱ トモエ乳業㈱ いばらく乳業㈱	関東乳業㈱ 〈栃木県〉 針谷乳業㈱ 栃木明治牛乳㈱ 栃木乳業㈱ ホウライ㈱千本松牧場本部 〈群馬県〉 榛名酪農協同組合連合会 東毛酪農協同組合 群馬明治㈱ 〈埼玉県〉 森乳業㈱ 西武酪農乳業㈱ 埼玉酪農協同組合 大沢牛乳㈱ 〈千葉県〉 古谷乳業㈱ 千葉北部酪農農業協同組合 千葉酪農農業協同組合 〈東京都〉 雪印メグミルク㈱ ㈱明治 森永乳業㈱ 協同乳業㈱ 小岩井乳業㈱ コーシン乳業㈱ 〈神奈川県〉 タカナシ乳業㈱ 横浜森永乳業㈱ 近藤乳業㈱ 足柄乳業㈱ ㈱協同牛乳 〈長野県〉 ハヶ岳乳業㈱ ㈱松田乳業 〈新潟県〉 新潟県農協乳業㈱ 原田乳業㈱ ㈱塚田牛乳 ㈱佐渡乳業 〈富山県〉 となみ乳業協業組合 黒東乳業 石川乳業	アイ・ミルク北陸㈱ 〈岐阜県〉 飛騨酪農農業協同組合 ㈱牧成舎 関牛乳㈱ 美濃酪農農業協同組合連合会 〈静岡県〉 いなさ酪農協同組合 函南東部農業協同組合 東海明治㈱ 朝霧乳業㈱ 〈愛知県〉 中央製乳㈱ 常滑牛乳㈱ 〈三重県〉 大内山酪農農業協同組合 〈京都府〉 平林乳業㈱ 京都農業協同組合畜産酪農センター 〈大阪府〉 泉南乳業㈱ 日本酪農協同㈱ ビタミン乳業㈱ ㈱いかるが牛乳 江崎グリコ㈱ 〈兵庫県〉 丹波乳業㈱ 淡路島牛乳㈱ 〈鳥取県〉 大山乳業農業協同組合 〈島根県〉 木次乳業㈱ 〈岡山県〉 オハヨー乳業㈱ 梶原乳業㈱ 蒜山酪農農業協同組合 〈広島県〉 山陽乳業㈱ 広島協同乳業㈱ チチヤス㈱ 〈山口県〉 やまぐち県酪乳業㈱ 防府酪農農業協同組合 〈香川県〉 四国明治㈱ 〈愛媛県〉	四国乳業㈱ 〈高知県〉 ひまわり乳業㈱ 〈福岡県〉 ニシラク乳業㈱ オーム乳業㈱ 永利牛乳㈱ 〈長崎県〉 島原地方酪農農業協同組合 〈熊本県〉 熊本県酪農農業協同組合連合会 熊本森永乳業㈱ 球磨酪農農業協同組合 阿蘇農業協同組合 寛堀田功乳舎 〈大分県〉 九州乳業㈱ 下郷農業協同組合 ㈱古山乳業 〈宮崎県〉 南日本酪農協同㈱ 〈鹿児島県〉 鹿児島県酪農乳業㈱ 〈沖縄県〉 沖縄明治乳業㈱ 沖縄森永乳業㈱ ㈱マリヤ乳業 ㈱八重山ゲンキ乳業 元気生活㈱ ㈱宮平乳業 ■賛助会員《13》 王子エコマテリアル㈱ 西日本衛材㈱ ㈱日誠産業 日本製紙クレシア㈱ 大和板紙㈱ コアレックス信栄㈱ 丸富製紙㈱ ㈱山田洋行商店 ㈱クレスコ ウェストロックアジア㈱ マスコー製紙㈱ ストゥーラエンソジャパン㈱ 日本ダイナウェーブパッケージング (2022年11月末現在)
--	---	---	--